No. 105（平成22年７月１日）

「美瑛の自然博士になろう」（三年総合的な学習の時間　五月二四日）
野鳥観察の達人をお招きし学校に隣接する丸山公園で「探鳥活動」を行いました。望遠鏡を活用しながら、二十種類近くの野鳥を見つけることができました。
（美瑛町立美瑛東小学校）

おもな内容

ページ
随　想……1
研修講座寸描　その１……2
研究室だより……4
研究協力校の紹介……5
研究会のご案内……6
研修講座から……7
心に残る授業　その61……8
人事短信……8
研修センター組合組織機構図……9
お知らせ・ご案内……10

不易と流行そして継承と創造

上川教育研修センター
所長　相澤政義

「不易と流行」。俳聖松尾芭蕉の言葉と伝えられている。難しいことはよくわからないが、俳句は、十七音という世界一短い詩形の為、常に新しい句材を求め、新しい表現を心がけなければならないそうである。この様に絶えず新しさを追求していくことが「流行」と言われるものである。また、俳句としては、不変の条件もある。例えば五七五の音形。「季語」などいくつかの原則を不変の鉄則としている。これが、「不易」といわれるものである。芭蕉は、「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」すなわち「不変の真理を知らなければ基礎が確立せず、変化を知らなければ新たな進展がない」と言っているのである。「不易」は変わらないこと、つまり、どんなに世の中が変化し状況が変わっても絶対変わらないもの、変えてはいけないものということで「不変の真理」を意味する。「流行」は変わるもの、社会や状況の変化に従って変わっていくもの、あるいは変わらなければならないものことである。このことは、教育の世界においても、常々言われていることであり、新しい教育を志向する教育改革の時代であればあるほど「不易」と「流行」を見極める必要があるのではないだろうか。昨今は、往々にして「不易」より「流行」が重視されるような風潮があるが、激動するこの時代においては、目先の価値観にとらわれること無く、じっくりと教育のあるべき姿を熟視する必要がある。

ところで、平成二十年三月に告示された新学習指導要領も、各学校においては、来年度以降の完全実施を見据えて、教科・領域などの指導内容の明確化を図るとともに、地域や学校、子ども達の実態を考慮し、創意工夫を生かしながら教育課程編成・実施に向けた取組を推進していることと思う。この新しい教育の方向を見定めることは、もちろん大切なことであるが、授業における発問や板書、机間指導、指示の仕方，ノート指導の在り方など先人が努力して長い時間に亘って築き上げてきた教師としての基本的な知識や技能などをしっかり継承することも必要ではないだろうか。そして、教師一人一人が教育内容を見極め、授業を構想し、子ども達に「確かな力」を育てる筋道を見通した指導力や実践力、授業力を学校一丸となって学校力を創造することが大切なことではないだろうか。

「校内陸上大会」（昨年の体育大会から）
みんなでジャンプ！跳ぶ人も縄を回す人も、クラスみんなの心を一つにして取り組みました。
（旭川市立北星中学校）

センター日誌

4月2日　新任所員就任
4月14日　研修講座講師委嘱状交付式
講座内容研究協議会
4月23日　講座受講申込み締め切り
4月26日　パソコン講座運営委員会議
5月12日　研修講座開始（小学校外国語活動）
6月4日　パソコン講座開始（表計算）
7月1日　センターだより第105号発行
※毎週火曜日　定例研究室会議

研修講座寸描 その1

委嘱状交付式、講座内容研究協議会

四月十四日、三十五講座の講師八十名にお集まりいただき、委嘱状交付及び講座内容研究協議会を実施いたしました。

始めに、センター組合小池教育長から講師の代表者に講師委嘱状が手渡されました。

その後、全体会の中で、研修事業第十三次三か年計画に関する基本方針の説明がなされました。

「試そう、創ろう、生かそう、あなたの力を」を合い言葉に、二年次目がスタートしました。

続いて、講座ごとに、内容・日程等について具体的な打合せが行われました。講師の先生方も、受講者のニーズに応えながら、なおかつ教育の今日的課題を追求できる講座づくりを目指して、熱心な話合いが予定時間を過ぎてまで行われていました。

五月十二日には、本年度の研修講座が「小学校外国語活動」を皮切りに、スタートしました。

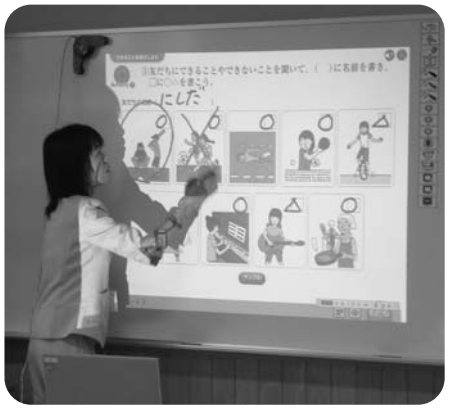
講座の様子から

外国語活動の指導方法や評価の仕方、英語ノートの使い方などを学ぶことができました。また、アクティビティを体験し、楽しく活動することができました。これからの実践に生かしていきたいと思います。（名寄市立名寄小学校　後藤　里望）

1　小学校外国語活動　5/12

「I can ～」の学習で，カードを使ったアクティビティの様子

英語ノートと電子黒板を活用した指導の様子



2　学校経営Ⅲ　5/13

熱心に講師の先生に耳を傾ける教頭先生方

教頭としての役割や学校づくりのビジョンと方策、更に経営資源を機能させていく手法を改めて学ぶことができました。また、各校の取組も示唆にあふれ、即自校で実践したいと思います。豊富な資料とご指導ありがとうございました。（旭川市立旭川中学校　田中　義彦）

3　学校事務実務　5/19・20

学校事務の学校間連携について講義をお聴きしている様子

組織マネジメントを通して事務職員の役割、学校間連携の具体的実践、給与、服務、旅費の実務、学校間連携にかかわる提言、各市町村の実態を踏まえた研究協議等、創造的な学校事務を展開していくうえで有意義な二日間の研修でした。
（士別市立糸魚小学校　盛多　隆）

4　特別支援教育１　5/19・6/16

小・中で各一本ずつの授業参観をさせていただきました。二つの授業は、子どもたちの実態を適切に把握した課題が設定された授業でした。実際の授業ではほめる場面がたくさんあり、「ほめる」ことの大切さを改めて学びました。ありがとうございました。
（富良野市立布部中学校　白倉　壮）

5　学級経営　5/20・6/17

参観授業では、学級の目指す方向が明確で、先生の願いが児童・生徒にも伝わっているように感じました。両先生の授業から、一人一人の児童生徒を誉め、認めることで子どもたちが自分の力を安心して発揮できる環境が、学級経営の土台であるということを学ばせていただきました。
（士別市立上士別中学校　西川　和美）

6　学校経営Ⅰ　5/26・27

株式会社コサイン社長による講話は、物事を捉える柔軟な発想と豊かな想像力に多くを学びました。二日目の危機管理の事例研究でのグループ演習や、レポートを持ち寄って交流したグループ協議は、実践的内容で有意義な研修でした。
（旭川市立近文第一小学校　渡辺　盛二）

7　動物たちと行動展示　5/27

サイが飼育されていた場所で，旭山動物園のすばらしさと，望ましい学校教育との連携について学ぶ様子

動物園の裏側を見学し、命の尊さを実感しました。私たちがよく知る動物が、数十年の間に絶滅する可能性があると聞き驚きました。日々の授業の中で命の大切さを伝えていく重要性を再認識させられた大変意義深い研修となりました。
（旭川市立神居中学校　田辺　修司）

8　総合的な学習の時間　6/3

「神居のじまんベスト10」を発表している様子

課題と向き合うことで自己とも向き合うことができるところに、総合的な学習の時間の魅力があるように感じました。学習対象や教師からの言葉かけ、学級全体の雰囲気を大切にし、子どもたちの知的好奇心をかきたてる授業を目指します。
（旭川市立緑が丘小学校　松田　隆之）

9　生活科指導　6/9

実際の授業を観せていただき、生活科の授業に対して抱いてた不安や曖昧な点が払拭できました。とくに、児童の実態を把握した上での、教材の設定の重要性について実感しました。わかりやすいご指導ありがとうございました。
（富良野市立山部小学校　三谷　海広）

11　国際理解教育　6/10

アクティビティ「ひょうたん島問題」に取り組む様子

国際理解教育は、「いつでも、どこでも、誰でも」できるものであり、学校生活すべてにおいて実践できるということがわかりました。国際理解＝外国というイメージがよい意味で覆された一日で勉強になりました。ありがとうございました。
（旭川市立永山西小学校　下司　智子）

今，研究室では…

－上川教育研修センター　第14次研究－

思考力・判断力・表現力等の育成

本研究では，基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けるとともに，自ら課題を見付け，主体的に判断し，よりよく問題を解決する資質や能力を育成することを目指しています。本年度は，第14次研究の３年目を迎えます。研究のまとめの年として，研究協力校と所員の実践を踏まえ，理論検証を充実し，研究の集大成を図りたいと考えています。

研　究　主　題

思考力・判断力・表現力等をはぐくむ学習指導の在り方

求める児童生徒像

基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け，よりよく問題を解決する児童生徒

研 究 の 仮 説

各単元(題材)において，児童生徒の実態を踏まえ，育てなければならない力を明らかにするとともに，各教科においては「習得・活用」の過程，総合的な学習の時間を中心とした学習においては「探究」の過程を位置付け，工夫して展開することにより，児童生徒は基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け，よりよく問題を解決することができるだろう。

研 究 の 内 容

１　児童生徒の実態把握と育てなければならない力

２　指導計画の工夫

各　教　科

「習得・活用」の過程

１単位時間に身に付ける基礎的・基本的な知識・技能を習得しつつ，その知識・技能の活用を図る学習活動。

総合的な学習の時間等

「探究」の過程

各教科で習得した知識・技能を相互に関連付けながら解決するといった探究活動の質的な充実を図り，思考力・判断力・表現力等をはぐくむ学習活動。

３　授業展開の工夫

平成２２年度「研究協力校の紹介」

旭川市立新町小学校

（研究主題）
「探究的・協同的な学びを育てる
総合的な学習の時間の実践研究」

一　研究の重点
新学習指導要領が目指す探究的・協同的な学びを実現する「総合的な学習の時間」の指導の在り方を実践を通して検証し、本校の教育課程の改善に資するとともに、児童に真に確かな学力を身に付けさせる。

二　研究の内容
○本校における総合的な学習の時間の在り方についての共通理解と実践検証
①探究的な学習が成立する要件
②協同的な学習による学習の質的な高まりの検証
③習得・活用から探究への学習のつながりの検証

三　研究計画
4・5月　「総合」の共通理解
5～9月　各学年第一単元の実践
10～12月　研究授業
1～3月　教育課程改善と研究のまとめ

※この研究は、本校の校内研究のテーマとは異なります。

鷹栖町立鷹栖小学校

（研究主題）
『わかる喜びと考える楽しさを求める子の育成』
～算数的活動の充実と基礎・基本の確実な定着を目指して～

一　研究の重点
児童に必要な手立てを明確にすることで実態に応じた『習得』や『探究』を促す過程のあり方“や”『TT・支援員』の位置づけ方“、また”算数的活動の適切なあり方“等を考慮しながら学習計画を作成し、児童の意欲を喚起していく学習を目指す。

二　研究の内容
○児童の実態に応じた指導計画の工夫
○算数的活動の充実
○評価活動の工夫

三　研究計画
4～7月　研究の構想・理論研究と研究授業A（二学級）
8～9月　公開研（研究授業B）に向けた取組と公開研究会（三学級）
9～10月　研究授業S（教育実習指導教諭による研究授業と研修センターの検証授業（三学級）
11～12月　研究授業C（五学級）
1～3月　本年度の研究の成果と反省・まとめ・次年度の方向性

旭川市立啓北中学校

（研究主題）
「生徒の学び合いを生かした
学習指導の工夫」
～表現活動の充実に着目して～

一　研究の重点
「学び合い」を指導過程に効果的に位置づけ、教師の手立てを工夫することで、生徒の学習意欲を高め、一人一人に基礎的・基本的な知識・技能を豊かに身につけ、よりよく問題解決をする力を育むことを目指す。

二　研究の内容
○学習形態の工夫
ペア・班・コの字型・一斉・ワークショップ型などの効果的な活用
○学び合いの工夫
表現活動の充実を図る工夫

三　研究計画
4～7月　研究の構想・理論研究
9～12月　授業研究
12～3月　研究のまとめ
次年度の方向性

旭川市立東明中学校

（研究主題）
「豊かな心で、自ら考え、判断し、
表現できる生徒の育成」
～心の育成と、確かな学力の
定着と向上をめざして～

一　研究の重点
「自分で作るお弁当の日」を設定し、食育を通して豊かな心を育成したいと考える。また、学習においては、「確かな学力」を身につけさせるため、各教科毎に基礎基本の定着度を確認しながら、指導方法の改善を図っていく。

二　研究の内容
○指導計画・方法・評価の改善と工夫
○『食』に対する意識の改善と向上

三　研究計画
4～5月　本年度の研修の方向性と年間計画
6～8月　教科毎の研究、授業交流
9～11月　研究授業
12～3月　研究のまとめ、次年度の方向性

研究会のご案内

今年度も管内各校及び各研究団体等で研究会が開催されます。上川の実践を広く問う素晴らしい機会として、当センターで確認させていただいた研究会について紹介させていただきます。センター講座とともに、皆様の積極的なご参加をご期待いたします。

	大会名　および　会場			開催期日
全国規模の大会	全国公立学校教頭会旭川大会	会　場：大雪アリーナ　など		7月28日(水)～30日(金)
全道規模の大会	北海道小学校理科教育研究大会	会場校：旭川市立緑新小学校	上川教育局指定	9月10日(金)
	北海道社会科教育研究大会	会場校：旭川市立青雲小学校		10月15日(金)
	北海道中学校理科教育研究大会	会場校：旭川市立永山中学校 旭川市科学館		10月29日(金)
	北海道発明工夫教育研究大会	会場校：美深町立美深中学校		11月12日(金)
第60回全道へき地・複式教育研究大会上川プレ大会	富良野市立鳥沼小学校	(国語科ほか)		9月24日(金)
	美瑛町立美進小学校	(体育科)	上川教育局指定	10月8日(金)
	旭川市立旭川第五小・桜岡中学校	(学習指導)	上川教育局指定	10月8日(金)
	東川町立東川第一小学校	(算数科)	上川教育局指定	10月15日(金)
	士別市立多寄小学校	(国語科)	上川教育局指定	10月15日(金)
	名寄市立智恵文小学校	(学習指導)	上川教育局指定	10月15日(金)
	士別市立多寄中学校	(学習指導)		10月22日(金)
	中富良野町立西中小学校	(国語科)	上川教育局指定	10月22日(金)
	富良野市立山部中学校	(特別活動ほか)		10月22日(金)
管内各校の研究会ほか	旭川市立知新小学校	(各教科)		7月2日(金)
	旭川市立大有小学校	(国語科ほか)		9月17日(金)
	旭川市立東五条小学校	(道徳)	上川教育局指定	9月22日(水)
	旭川市立大町小学校	(算数科)	上川教育局指定	9月22日(水)
	上川管内教育研究会北部地区研究大会		士別市ほか	10月6日(水)
	上川管内教育研究会南部地区研究大会		富良野市	10月8日(金)
	上川管内教育研究会中部地区研究大会		鷹栖町ほか	10月13日(水)
	旭川市立近文小学校	(算数科)		10月29日(金)
	旭川市立北光小学校	(外国語活動)		10月29日(金)
	旭川市立青雲小学校	(算数科)		11月2日(火)
	旭川市立愛宕東小学校	(各教科)		11月2日(火)
	旭川市立東栄小学校	(国語科)		11月5日(金)
	旭川市立朝日小学校	(国語科)		11月12日(金)
	旭川市立新町小学校	(算数科)		11月18日(木)
	旭川市立永山小学校	(国語科)		11月18日(木)
	中富良野町立中富良野中学校	(道徳)	上川教育局指定	11月19日(金)
	旭川市立東町小学校	(算数科)		11月19日(金)
	旭川市立神楽小学校	(国語科)		11月19日(金)
	名寄市立名寄小学校	(学習指導)	上川教育局指定	11月26日(金)
	旭川市立日章小学校	(国語科)		11月26日(金)
	旭川市立末広小学校	(算数科)		11月26日(金)

小学校外国語活動　研修講座から

小学校では、平成二十三年度から「小学校外国語活動」が、五・六年生で年間三十五時間実施されます。

当センターでは、三年前から小学校英語活動の本講座及び出前講座を開設し、管内の外国語活動の指導力向上を目指し講座の充実に努めてまいりました。

今年度の本講座は、五月十二日（水）旭川市立北光小学校を会場に開催されました。研究協議では、三十二名の受講者が、ＡＬＴとの望ましい連携の在り方や、英語ノートの活用方法等、指導上の課題について熱心に交流されました。そこで完全実施となる新年度に向けて、さらに研修を深めるために今後、開催される研修会をご紹介します。

①上川教育研修センター講座
「外国語科（英語）指導」
中学校英語科の指導方法について研修を深めますが、小学校外国語活動の授業参観が設定されています。
・第二日目　九月九日（木）午後
旭川市立旭川小学校の授業を参観させていただきます。
当日のみの受講も可能ですので、積極的にお申込みください。

②上川教育研修センター出前講座
「小学校外国語活動」
開催期間　十一月まで
開催場所　管内各学校
九月以降の開催には、若干のゆとりがございます。開催の希望がありましたら、センターまでお問い合わせください。

③北海道立教育研究所
「小学校外国語活動研修講座」
開催期間　八月九日～十一日
開催場所　上川合同庁舎
定員は上川・留萌・宗谷の三管内合計で三十五名

※詳細は「平成二十二年度　北海道立教育研究所　事業案内」をお読みください。

保健安全指導　研修講座から

六月九日（水）に旭川市立神楽中学校を会場に「保健安全指導」研修講座が開催されました。

参加者は十八名。テーマは「薬物乱用防止」で、旭川東警察署生活安全課の政岡正明警部補と関口高章巡査部長、神楽中学校の小林勝彦教諭、同じく松本賢尚教諭を講師に行われました。

授業は当初一時間で行われる予定でしたが、授業づくりの段階で、説明やロールプレイングを含めて薬物の問題についてじっくり考えることの必要性が協議され、「薬物から身を守るために」をテーマに二時間続きの授業を公開することになりました。

一時間目の授業は「薬物を経験した中高生は、たばこやアルコールを入り口に薬物に手を出してしまっている」という担任の説明から始まりました。

つぎに、署員の方から薬物に関する説明を受け、薬物のレプリカ観察やＤＶＤの視聴を通して、薬物蔓延の実態と薬物の恐ろしさについて理解を深めました。

二時間目は、タバコやアルコール、薬物に遭遇する場面を設定したロールプレイング行いました。薬物に近づかないための具体的な対策を学級全体で交流し、生徒一人一人がどう行動すべきか考えました。

午後は署員の方の薬物に関する講話を受け、小林・松本両講師による「ポリスチャンネルを活用した授業実践」と「生徒指導の機能」について研究協議を深めました。

受講者の士別市立上士別中学校の佐藤菊男教諭は「昨年よく目にしていた『芸能人が薬物使用で逮捕』。新聞やＴＶで連日報道され、記憶にも新しいところです。興味本位で入手する気になればインターネット等で簡単に購入できる薬物。生徒一人一人が心からＮＯと考え、行動できるようにしていくことを再確認するよい機会となりました。警察との連携がとれた授業が印象に残る有意義な研修でした。」と感想を寄せてくださいました。

薬物乱用は「誰にでも起こりうるもの」と考え、家庭と充分に連携をとり、喫煙や飲酒の行動をさせないよう、しっかり指導することの大切さを学んだ講座になりました。

心に残る授業 その61

旭川市教育委員会
教育指導課主査
辻 並 浩 樹

I will study English harder and I will make many friends all over the world. I will try my best to keep the world peace with my friends.（「英語をもっと一生懸命勉強して、世界中にたくさんの友人を作りたい。そして、世界中の友人とともに、世界の平和が守られるよう全力を尽くしたい。」）。

数年前に、中学校第三学年の英語の授業を見せていただく機会がありました。本時は、単元の最後の時間であり、授業の山場は、一人一人の生徒がこれまでの学習を通して感じたことを英文にまとめ、それを全員の前でスピーチする場面でした。その時のスピーチの内容と生徒たちの真剣なまなざしを、私は今でも忘れることができません。

題材文は、カンボジアやモザンビークで地雷撤去技術の訓練・監督に当たり、自ら作業中の事故により、右手と右足を失ったイギリス人男性の生き方を紹介したものでした。

英語の授業においては、英語の音声や文構造など、言語材料を確実に身に付けさせることが大切であることは言うまでもありません。しかし、教材との出会いが、自分の生き方について考えるきっかけとなるなら、それは、生徒にとってたいへん価値のある学びにつながると思います。

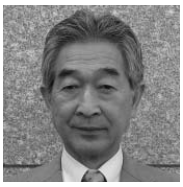
研究協議の中で授業者が、「単元の学習を通して、生徒が世界の国々に目を向け、平和の大切さについて改めて考える機会にしたかった。」と述べていましたが、真剣な表情でスピーチする生徒たちの姿から、授業者の願いが生徒たちに伝わり、生徒たちも、授業者の思いに応えようと努力している様子がうかがえ、大変感動したことを覚えています。

本時の授業を支えたものは、『授業者の人を育てる教師としての熱い思い』、『生徒の授業者への信頼感』、そして、カンボジアで地雷撤去作業を行っているNGOの活動の様子を紹介したテレビ番組を、本単元を学習する数ヶ月前に録画し、教材化しておくなどの、『授業者の地道な教材研究』でした。

人事短信

平成二十二年度就任・退任研修センター所員を紹介します。

就任



所長　相澤　政義

「すべては子ども達のために」を合い言葉に教師力アップへの自己研修の場としての研修センターを目指します。

副所長　山下　尚年

教育実践に役立つ研修センターを目指して微力ながら最善を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。

指導員（神楽岡小）　藤本　友紀

有意義な研修講座となるよう先生方のお手伝いをさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

研究員（東栄小）　貝谷　雅敏

各学校の研究に活用していただけるよう精一杯努力して参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

研究員（緑が丘中）　常盤　慎一

微力ではございますが、精一杯研究に努力して参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

退任

お世話になりました

○前所長　**横濱　拓哉**

○前指導員　**坂田　幸親**（旭川六合中）

○前研究員　**中島　圭介**（旭川緑が丘中）

○前研究員　**上原　丈典**（旭川明星中）

上川教育研修センター組合組織機構図

（平成22年４月１日現在）

議　会

定　数
- 市町村長　22
- 市町村議員　7

議　長
四方　昌夫
（20.８.19～23.９.22）

副議長
村岡あつ子（旭川市議）
（21.８.19～23.５.１）

議運委員長
髙見　一典（旭川市議）
（21.８.19～23.５.１）

議会事務局

書記長　森下　元
（18.12.20　旭川市議会事務局長）

書　記　津村　利幸
（22.４.１　同　議事課長）

書　記　阿部　孝浩
（22.４.１　同　議事課長補佐）

書　記　宮田　冬彦
（21.４.１　同　議事課）

書　記　坂上　大介
（22.４.１　同　議事課）

組　合　長

西川　将人（旭川市長）
（18.11.17～22.11.16）

会計管理者

江刺　孝一
（20.５.１　旭川市会計管理者）

出　納　室

室　長　江刺　孝一
（16.４.１　会計課長）

主　査（支払担当）　奥山　俊夫
（19.４.１　課長補佐）

主　査　川島　文雄
（21.４.１　審査担当）

会計員　三上　徹
（22.４.１　支払担当）

副組合長

表　憲章（旭川市副市長）
（20.11.14～24.11.13）

組合事務局

事務局長　鈴木　義幸
（21.10.26　市教委　学校教育部長）

事務局次長　末永　忠義
（19.４.１　同　教育指導室長）

主　幹　髙野　哲也
（21.５.１　同　教職員担当課長）

主　査　菊地　康裕
（21.４.１　同　学務課主査）

書　記　坂本　竜太
（20.５.１　同　学務課）

書　記　橋本　敦
（21.４.１　同　学務課）

監査委員

欠　員（旭川市監査委員）

千見寺正幸（音威子府村長）
（21.８.19～23.４.30）

監査事務局

局　長　西野　泰史
（22.４.１　監査事務局長）

書　記　遠野　均
（20.１.１　同　次長）

教　育　長

小池　語朗（旭川市教委教育長）
（22.２.17～25.10.13）

教育委員会事務局

教育部長　鈴木　義幸

教育部次長　末永　忠義

教育部次長　小谷　要次
（19.４.１　市教委　学校教育部次長）

書記長　髙野　哲也

書記次長　菊地　康裕

書　記　坂本　竜太

書　記　橋本　敦

指導主事　須郷　智和
（19.４.１　同　教育指導課主幹）

指導主事　佐藤　栄一
（21.４.１　同　教育指導課長補佐）

教育委員会

委員長　山下　善彦（旭川市）
（21.２.10～24.10.13）

職務代理　千葉　訓（中川町）
（19.８.９～22.９.30）

委　員　糠谷　仁一（当麻町）
（21.８.19～25.４.15）

委　員　松藤　藤吉（中富良野町）
（21.８.19～23.12.17）

委　員　小池　語朗（旭川市）
（22.２.17～25.10.13）

研修センター運営協議会

委員長

委　員　15

研修センター

所　長　相澤　政義（22.４.１　専任）

副所長　山下　尚年（22.４.１　専任）

事務部
- 部　長　加茂　千秋（21.４.１　専任）
- 係　小林　晴美（19.６.１　専任）
- 係　笹谷　青子（19.８.１　専任）

研修事業部
- 主　幹　須郷　智和（19.４.１　市教委　教育指導課主幹）
- 主　査　佐藤　栄一（21.４.１　同　課長補佐）
- 指導員　山口　有士（20.４.１　旭川第３小　教諭）
- 指導員　宮寄　智（21.４.１　東光中　教諭）
- 指導員　佐藤　聖士（21.４.１　愛宕東小　教諭）
- 指導員　藤本　友紀（22.４.１　神楽岡小　教諭）

研究事業部
- 部　長　樋口　雅裕（21.４.１　緑新小　教頭）
- 主　査　森田　聖吾（16.４.１　市教委　教育指導課補佐）
- 主　査　石ヶ森孝順（16.４.１　同　）
- 主　査　柴田　康徳（17.４.１　同　）
- 主　査　辻並　浩樹（18.４.１　同　主査）
- 主　査　青山　天生（19.４.１　同　主査）
- 主　査　武山　昌裕（20.４.１　同　主査）
- 主　査　櫛部　治彦（20.４.１　同　主査）
- 主　査　末木　良典（21.４.１　同　主査）
- 主　査　坂東　裕美（21.４.１　同　主査）
- 研究員　長瀬　剛仁（20.４.１　近文小　教諭）
- 研究員　善方　幸（20.４.１　当麻小　教諭）
- 研究員　三好　雅之（21.４.１　永山小　教諭）
- 研究員　河村　知泰（21.４.１　当麻中　教諭）
- 研究員　貝谷　雅敏（22.４.１　東栄小　教諭）
- 研究員　常盤　慎一（22.４.１　緑が丘中　教諭）

教育講演会のご案内

今年度の教育講演会は、講師に元筑波大学附属久里浜特別支援学校校長西川公司氏をお迎えして、九月七日に実施を予定しております。

平成十九年度から始まった特別支援教育については、一層、一人一人の困難さやつまずきを把握し、子どもたちの能力を高める指導の工夫や改善が求められています。現状と課題を踏まえながら実践に向けて示唆に富んだご講演をいただこうと準備を進めているところです。

多くの方の参加をお待ちしております。

○日　時
平成二十二年九月七日（火）
午後二時～午後三時三十分

○会　場
上川教育研修センター
旭川市六条通四丁目
電話…〇一六六―二四―二五〇一

○演　題
「特別支援教育における今日的課題」

○講　師
元筑波大学附属久里浜
特別支援学校　校長
西川　公司　氏

「ギャラリー　闡（セン）」のお知らせ

当研修センターの『第２研修室』の壁面をギャラリーとして開放いたしております。

生徒や教職員の皆様方の「絵画・写真・書」などの作品を展示いたしております。展示していただける作品がございましたら，センターまでご連絡ください。

また，各学校の公開研究会等の案内なども掲示いたしておりますので，どうぞご活用ください。

（占冠中央小児童作品）

お知らせ

○今からでも申込み可能な講座のご案内

下記の研修講座につきまして、受講者数にゆとりがあります。

受講を希望される方は当センターまでお問い合わせください。

（電話　〇一六六―二四―二五〇一）

講座番号	講　座　名	開　催　日
22	道徳教育	8／4・9/29
24	生徒指導	8／5・9/30
25	ミニ道研Ａ	8／6
29	教育講演会	9／7
30	特別活動	9/15
32	校内研修	10／6
34	ミニ道研Ｂ	1/13
35	センター研究発表会	2／8

研修センターのご利用を

当センターは，上川支庁管内の４市19町村が共同で教職員の研修を行うための施設として設置されたもので、今年度から新たに幌加内町が加盟されました。

教職員の研修はもとより，企業内研修，市民団体の研修，会合や宿泊にお気軽にご利用ください。

○センターの資料をご利用ください

当センターでは上川管内をはじめ道内・全国の研究研修資料・教育関連図書を所蔵しています。資料の一部を第二研修室にて展示しております。どなたでも閲覧できます。

多くの方のご利用をお待ちしております。

発行日　平成二十二年七月一日
発　行　上川教育研修センター
〒〇七〇－〇〇三六
旭川市六条通四丁目
電話（〇一六六）二四－二五〇一
責任者　相　澤　政　義
印刷所　東信印刷株式会社
※この用紙は再生紙（古紙70％）を使用しています。